

特集 地球がヨロコブ、一人ひとりにできるエコ!

わたしは1年で消費電力を kWh削減します!

実践! エコ12の約束

地球の恵みを受けながら、今を生きる私たち。この恵みを将来へ受け渡すために、簡単に消費電力を削減できる“ちょいエコ”を、日々の習慣にしていきたいと思います。

1 人がいない部屋の電気は消そう
年間消費電力削減量 / 19.7kWh
※54Wの白熱電球1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。



2 テレビを見る時間を減らそう
年間消費電力削減量 / 43.1kWh
※42型液晶テレビを見る時間を1日1時間減らした場合。

3 使わない家電はコンセントを抜こう
年間消費電力削減量 / 113.0kWh
※テレビ・エアコン・電子レンジ等の待機時消費電力を削減した場合。

4 夏の冷房は、28度以上にしよう
年間消費電力削減量 / 30.2kWh
※外気温度31度の時、エアコン(2.2kw)の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合。(使用時間:9時間/日)

5 LEDや電球型蛍光灯を使おう
年間消費電力削減量 / 147.8kWh
※消費電力54Wの白熱電球3個を同9WのLED電球に取替え、毎日3時間点灯した場合。

6 冷蔵庫はすっきり使おう
年間消費電力削減量 / 43.8kWh
※詰め込んだ状態から半分にした場合。



7 電気ポットの付けっぱなしはやめよう
年間消費電力削減量 / 107.5kWh
※ポットに満タンの水2.2Lを入れ沸騰させ、1.2Lを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較。

8 温水洗浄便座のふたは閉め、洗浄水の温度は低めにしよう
年間消費電力削減量 / 48.7kWh
※貯湯式の洗浄水の温度設定を年間一段階下げた(中⇒弱)場合。

9 炊飯ジャーの保温時間を短くしよう
年間消費電力削減量 / 31.5kWh
※5.5合炊き炊飯ジャーの保温を1日6時間やめた場合。



10 洗濯はまとめて、回数を少なく使おう
年間消費電力削減量 / 5.9kWh
※定格容量の4割を入れて洗う事から8割にして洗濯回数を減らした場合。

11 なるべく公共交通機関を利用しよう
年間ガソリン削減量 / 20.7L
※ショッピングに関して、月1回、自動車から公共交通機関利用へ変更。往復距離20km、自動車の燃費11.6km/Lとした場合。

12 エコドライブを心がけよう
年間ガソリン削減量 / 83.6L
※発進時、5秒間で20km/h程度に加速する“ふんわりアクセル(eスタート)”をした場合。



※出典 / 財団法人省エネルギーセンター 家庭の省エネ大事典2011年版 環境立県推進課換算

家庭の一世帯あたり年間平均消費電力量は約5,926KWhで①~⑩を実践することで、1年間の消費電力を約10%削減でき、家計にとっても約2万円もおトクになります。省エネ活動は長く続けることも大切。ガマンするのではなく、楽しく取り組むのもコツです。

※このチェックシートを身近な所に貼って、ちょいエコライフを実践しましょう。

check

エコの心を育む子どもを支えていきたい。



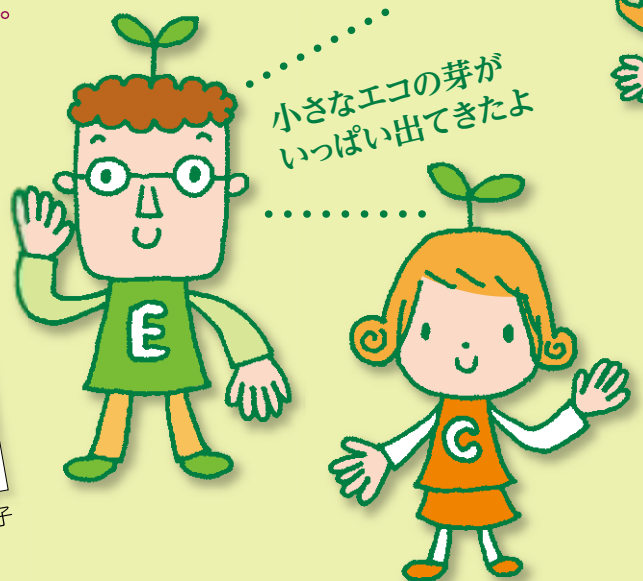
エコロジスト・リーダー
やまぐち まこと
山口 孚さん(熊本市)

エコロジスト・リーダーで作る団体「エコ村伝承館」では、未来を担う子どもたちにエコの心を育てようと、環境に関する出前授業を開催しています。テレビを見る時間を減らすことや冷暖房の温度を適切に設定することがどれだけ環境にやさしくなるのか、子どもたちが考えるきっかけになると思います。

自然環境の大切さを知った子どもたちは、環境について親に問いかけるようになります。こうしていくことで、親も環境に対する意識が変わっていくのでは、と考えています。



手動発電の実験の様子



小さなエコの芽が
いっぱい出てきたよ



地球にも財布にも優しい「太陽光発電」

数字がわかるから
節電に効果バツグン!



たかみね ゆうすけ あきこ
高峰 裕介さん 昭子さん夫妻(芦北町)

太陽光発電には、以前から興味があったものの、費用対効果の面で迷っていました。でも、設置費の補助や、太陽光発電によって電気代が安価になることが分かったので、設置したんです。面白いのは、発電や節電の数値がモニター画面で見えることですね。

数字で見ると今電気をどのくらい使っているか一目でわかるので節電意識が高まりました。

節電した分、電気を買って取ってもらえるんですまさに一石二鳥です。子どもたちの将来を考えると、早い段階で発電から蓄電まで家庭でできるシステムづくりが必要ではないかと思えます。

住宅用太陽光発電システム設置の補助について

県では、クリーンなエネルギーを利用し、省エネに貢献する「太陽光発電」の普及を進めるため、住宅用太陽光発電システムを設置する方に対し、1件当たり5万円の補助を行います。

くまもとグリーンコミュニティ

■お問い合わせ先 / くまもとソーラーコールセンター ☎096-300-5331 (月~金 10:00~18:00)

太陽光で充電し電気で移動 電動化とソーラー技術が明日をつくる!

(株)本田技研研究所
未来交通システム研究室長
よこやま としお
横山 利夫さん



昨年、本田技研工業(株)と熊本県は、次世代モビリティ(電動自動車や電動バイク、電動カートなど)の実証実験を行う協定を締結しました。例えば、電動バイクを通学用に使ったり、電動カートを高齢者施設で共同利用するなど、新たな活用法に向けた実験をします。また、電気自動車は1回の充電でどこまで不安なく走れるか、充電ステーションがどこに必要なかなどのデータ収集を行います。

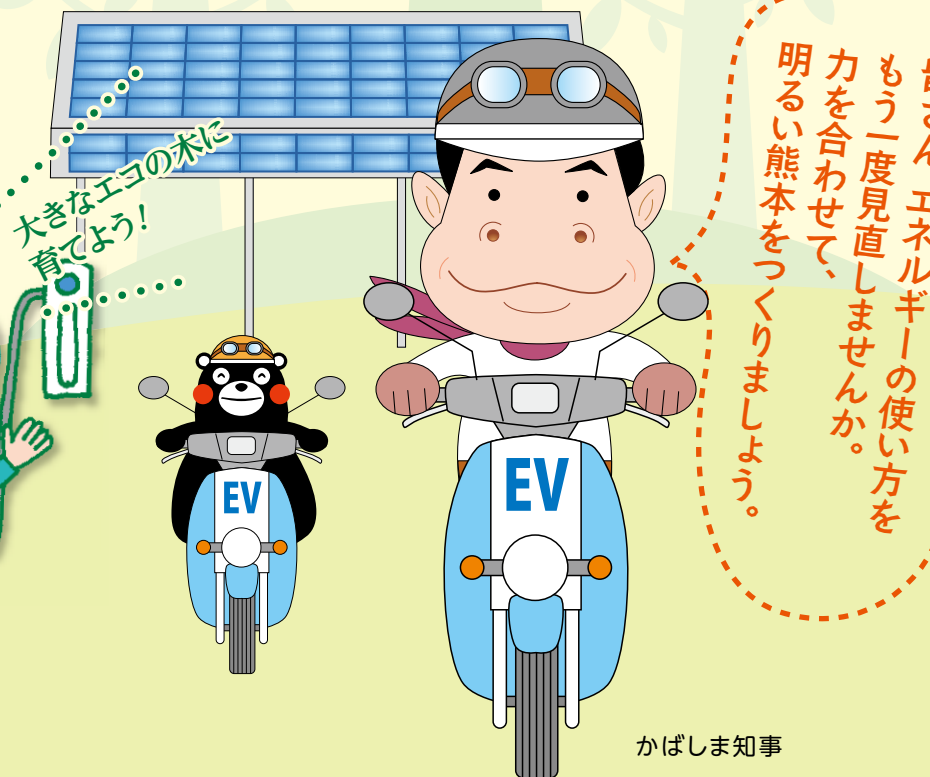
今後は、太陽光などの再生可能エネルギーへの転換が進むことが見込まれます。熊本県がソーラー技術を活用した次世代モビリティのモデル県となるようにこれからも取り組んでいきます。



現在3カ所あるソーラー充電ステーションもこれから増設予定です



誰でも簡単に充電ができます



かばしま知事

皆さん、エネルギーの使い方をもう一度見直しませんか。力を合わせて、明るい熊本をつくりましょう。

TOPIC 県政トピックス

「熊本県やさしいまちづくり推進計画」策定

県では、高齢者や障がい者など県民誰もが共にいきいきと暮らせる社会の創造を目指し、「熊本県やさしいまちづくり推進計画」を策定しました。この計画では、「おでかけトイレ」や「災害時のバリアフリーウォッチ」など、6つの重点プロジェクトを設定し、民間団体や事業者と協働し、短期的・集中的に取り組むこととしています。

熊本県やさしいまちづくり推進計画

■お問い合わせ先 / 福祉のまちづくり室 ☎096-333-2202

みんなで防ごう土砂災害

6月は土砂災害防止月間です。梅雨に入ると雨が多くなり、がけ崩れ・土石流など土砂災害が起こりやすくなります。日ごろから危険な場所を確認し、気象情報、市町村からの防災情報に注意しましょう。

県内の危険な場所や雨量・河川水位情報は

熊本県防災情報

■お問い合わせ先 / 砂防課 ☎096-333-2553

防災情報を携帯電話へメール配信しています

登録方法

entry@anshin.pref.kumamoto.jp

に空メールを送信し、登録してください。登録用QRコード

■お問い合わせ先 / 危機管理防災課 ☎096-333-2112

